

大阪母子医療センター

腎・代謝科 フェロー募集



診療科の概要

腎疾患、骨ミネラル代謝異常症および糖尿病を対象に専門的な診療を行っています。

腎疾患については、腎炎・ネフローゼの治療、急性腎障害・慢性腎臓病の保存期管理、腎代替療法(腹膜透析・血液浄化療法)の導入・管理まで、一貫した診療を行っています。

先天性腎疾患に対しては、産科や新生児科、泌尿器科と連携して、胎児期・新生児期からのサポートを行っています。

腎生検は腎炎・ネフローゼ症例および腎移植後の患者を対象に、幼児期から経皮的に行っています。腎病理カンファレンスで病理診断科とともに検討を行い、治療方針を決定しています。

また、軟骨無形成症、骨形成不全症に加え、低ホスファターゼ症、X染色体連鎖性低リン血症性くる病(XLH)、副甲状腺機能低下症、尿崩症、1型・2型糖尿病の治療(ケトアシドーシスの治療からインスリンポンプ導入まで)など、幅広く診療を行っています。

主な検査と治療

○検査

経皮的針腎生検(年間25例程度)

持続血糖モニター(CGM)

24時間自由行動下血圧測定(ABPM)



○治療

- ネフローゼ症候群における免疫抑制薬、血漿交換
- IgA腎症に対する多剤併用療法
- 腹膜透析・血液浄化療法
- 非典型溶血性尿毒症症候群に対する抗体療法
- 糖尿病におけるインスリンポンプ療法(CSII)
- 骨ミネラル代謝異常症に対する分子標的治療・酵素補充療法・抗体療法など

研修について

日本腎臓学会の認定教育施設として、2012年以降4名の腎臓専門医を輩出しています。

内分泌専門医の指導のもと、糖尿病や骨ミネラル代謝異常症の最新の診療を学んでいただけます。

学会発表や論文執筆も積極的に指導しています。

部長からのメッセージ

当科では、豊富な症例に触れながら、手厚い指導体制のもと、小児の腎疾患、糖尿病、骨ミネラル代謝異常症に対する専門性を着実に高めることができます。

日常診療を通じた臨床力の向上に加え、希望に応じて臨床研究への挑戦や学会発表も、積極的に支援しています。

子どもたちとご家族に寄り添い、共に成長できる意欲ある皆さんを、心より歓迎します。

腎・代謝科部長 窪田拓生